

全日中事務局だより

「全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いの改善の方向性（素案）」を発表

▼令和七年三月十八日、「全国的な学力調査に関する専門家会議・調査結果の取扱い検討ワーキンググループ」は、表題にある改善の方向性（素案）を発表した。

▼例年、四月に実施されている「全国学力・学習状況調査」の結果公表については、様々な課題が指摘されてきた。特に学校側からは、公表された結果が授業改善につながるものとすることや夏季休業期間前に課題を把握できるように、結果返却の時期を早めること等が指摘されてきていた。

▼また、都道府県等からは、全国との平均正答率との差や順位のみが独り歩きしているといった指摘が出てきていた。

全国学力・学習状況調査の 調査結果の取扱いの改善の方向性 （素案）

令和7年3月18日

全国的な学力調査に関する専門家会議・調査結果の取扱い検討ワーキンググループ

▼このような指摘を受け、専門家会議で議論を重ね、検討した結果。次のような改善の方向性をまとめた。

▼令和七年度調査での改善について

(一) I R T※ に基づく結果提供・説明・公開問題の難易度に関する情報を五段階で表示し、返却する。

(二) 結果返却スケジュールの前倒し

・ R六年度 七月二六日→R七年度 七月一四日にする。

・ 国による結果公表は三段階に分けて行い、都道府県等の主体的な分析期間を確保する。

(三) 長期欠席児童生徒、特別な教育的支援を必要とする児童生徒、外国人児童生徒について

・ 調査への参加状況を把握し、支援策の検討・充実につなげる。

※ I R Tとは、問題の特性と児童生徒の能力を分けて推定する統計理論。異なる時点、問題冊子、児童生徒集団等で実施した場合であっても、その結果を同一尺度上で相互に比較できる。P I S AやT I M S S等の国際学力調査でも採用されている。(国

立教育政策研究所)

▼令和八年度以降の調査での改善の方向性

(一) 結果返却の更なる早期化

・ 結果返却の技術的な検討や自動採点の本格的な活用の検討

(二) 経年変化を把握できるデータの提供

・ 二回目以降となる調査から、各自治体や学校等の経年変化が把握できる数値や分布等の提供の在り方を検討

(三) 公開問題、非公開問題の在り方

・ 問題の総量や各問題セット構成について検討

(四) 質問調査の改善

・ 男女差や家庭の社会経済的背景の分析に必要な質問調査項目の改善の検討

討

(五) 学校・自治体の主体的な分析の支援

・ DXの進展を踏まえ、各学校や自治体それぞれのデータ活用ニーズに応じた分析が行えるツール開発の研究

▼最後に都道府県・指定都市別の結果

令和7年度全国学力・学習状況調査 結果提供・公表スケジュール (案)

国		都道府県・指定都市、市町村
7月	7/14 文部科学省からの結果公表 (第1弾) ・ 個人票に掲載される全国値 ・ (科目別) 全国の平均正答率など (CCTV観戦、中学校理科) JICAバドミントンの生徒の割合など 学校向け結果情報の提供 ・ 提供情報は従来と同様、設置管理者にも共有。 ・ 学校は受領後、児童生徒・保護者に返却。	調査結果の分析
	7/22 教育委員会向け結果情報の提供 ・ 他の都道府県、指定都市に関する情報は提供しない。	
	7月末 文部科学省からの結果公表 (第2弾) ・ 全国データに基づく分析	
8月	(学習指導の改善・充実説明会) 都道府県・指定都市別データの作成 ・ 分布や経年変化に配慮した統計表やグラフ ・ 学力や経年調査結果の関係を示す散布図 ・ 都道府県・指定都市別ノート (試行) の作成	各都道府県・指定都市教委からも結果公表
秋	文部科学省からの結果公表 (第3弾) ・ 都道府県・指定都市別データ	

(参考) 令和6年度調査の結果提供・公表スケジュール

国		都道府県・指定都市、市町村
7月	7/22 教育委員会向け結果情報の提供 ※ 都道府県・指定都市別を添付公表資料一式を提供。	調査結果の分析 (短期間の分析で公表解説)
	7/26 学校向け結果情報の提供 (1回限り)	
	7/29 文部科学省からの結果公表 (1回限り) ・ 全国データに基づく分析を公表 ・ 都道府県・指定都市別データも公表	
8月	(8/20 学習指導の改善・充実説明会)	研修等で調査結果を活用

公表の在り方については、次の通り改善を図るとしている。
(一) 分布や学習熟度に目配りした統計表やグラフを活用する。

(二) 学力や質問調査結果の状況を示す散布図を活用する。
(三) 都道府県・指定都市別結果チャートを発表する。

(四) 都道府県・指定都市別ノートとして、前述の(一)～(三)の結果等について、文章で説明するものを試行的に作成する。

▼これらのイメージは、全日中HPの会員ページにもアップされているので、是非御覧いただきたい。

▼各学校におかれては、今後も調査結果の有効活用について、さらに検討を重ねられることを期待したい。

会員計報

兵庫県神戸市立御影中学校長

有井晃一様 六十歳 三月十一日

謹んでお悔やみ申し上げ、御冥福をお祈り申し上げます。

(事務局長 富士道正尋)